

23: 海外ドナーからの移植

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 中瀬 浩一	愛媛県立中央病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
東梅 友美	山形大学大学院医学系研究科	内科学第三講座血液・細胞治療内科学分野
三田村 真	サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社	
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

2. 会議開催記録(2017 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
1月8日	国立がん研究センター 中央病院	WG 研究(23-1、23-2)の進捗状況の確認、新規研究(海外ドナーとのコーディネート期間)についての検討。
7月8日	名古屋第一赤十字病院	新規研究(海外ドナーとのコーディネート期間)についての研究結果の検討、今後開始する新規研究についての検討。

3. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2017 年 12 月末時点まで)

(365)回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

今回、海外ドナーからの移植のコーディネート期間についての研究を行いました。結果は 2018 年 2 月の造血細胞移植学会で発表を行いました。海外ドナーからの移植は、骨髄バンクを介した国内ドナーの移植より、短いコーディネート期間で移植が出来ていると思われる結果でした。当 WG がすでに明らかにした結果(WG23-1、海外ドナーからの移植成績は、国内骨髄バンク/臍帯血移植と比較して、遜色ない/良好な成績であること)とあわせて、早期に論文化を行い、当 WG の見出した結果が今後の日本の造血細胞移植に生かされるようにしたいと考えています。

以前からの臍帯血移植の普及、また最近のハプロ移植の増加により、海外ドナーからの移植が減少傾向となっているのは確かです。ただ、過去の海外ドナーからの移植の成績は国内ドナーの移植に勝るとも劣らない結果でしたので、今後は、海外ドナーからの移植と国内のハプロ移植との比較も行いたいと考えています。

また、国内で採取して海外に提供された造血幹細胞の移植成績の解析等、海外とも協力して、国際的な造血細胞移植の現状についても、明らかにしたいと思います。